

公立大学法人国際教養大学 理事長候補者に求める人物像

本学は、開学から20年の間、国際系大学のトップランナーとして、我が国の高等教育に大きな影響を与えてきました。2024年からの10年間に取り組む「国際教養大学長期ビジョン（2024-2033）においては、「秋田と世界を結び、未来に向けた価値と知の創造」を副題として掲げ、今後は、リベラルアーツを揺るぎない基盤としつつ、国内外の多様な主体と積極的に協働し、地域の課題解決や社会実装と関連させながら応用国際教養教育（AILA）を推し進め、教育、研究、地域・国際貢献を同時にかつ相互作用的に高度化していくことを目指しています。

このような中、次期理事長兼学長となる人物には、国際教養大学理事長選考規程第2条第2項に基づき、次のような資質・能力を求め、本学の発展に向けて尽力することを期待したいと考えます。

- 本学の教学理念や特性について理解・共鳴し、長期ビジョン・中期計画等の実現に向けて自身の学識及び経験を活かすことができる。
- 国際的視野と経営能力に優れ、ステークホルダーと適切なコミュニケーションを図りながら高いリーダーシップを発揮することができる。
- 優れた人格を有し、教職員及び学生の模範となることができる。